



# しののめYMCAこども園 園だより

2019年度11月号

発行者：こども園園長 堀江 和広

聖句 「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。

これがわたしの掟である。

11月聖句 「同じ愛抱き、心を合わせ、思いを一つにして」

フィリピの信徒への手紙 2章 2節

「有難う！」「有難うございました！」……とても素敵な言葉だといつも思います。素敵な言葉なのですが、最近はなかなか素直に、そして上手く言えない人が増えているようにも感じています。

私はこの言葉を発する時には、その場面により、『有難う』『有難うございました』の意味合いが少し変わってくるのではないかと考えています。

ひとつは、何か困っている時や手助けをしてくれた時に『有難うございます！』『有難うございました！』と、その行為に対して直ぐに相手へのお礼の気持ちを伝える時に用いられると思います。

もうひとつは、『感謝』の意味合いが強い『有難うございます！』『有難うございました！』だと思います。困っている時や手助けをしてくれたという一瞬の場面ではなく、継続的に取り組んできた事が、アドバイスや指導により出来るようになったり、またその過程を振り返った時に、自分に対して多くの人が理解を示し、協力してくれた事に気づいた時など、『感謝』の意味合いが強い『有難うございます！』『有難うございました！』になるのではないかと考えています。

今年の運動会は、久しぶりに晴天の中で行うことができました。初めて利用させて頂いた東京海洋大学のグラウンドは広く芝生に覆われ、その緑が園児たちを優しく迎えてくれました。

どの年齢の園児たちも、練習ではなかなか上手くできなかった演技や競技も、先生と子どもたちが力を合わせて一生懸命に取り組み、披露してくれました。ご家庭で作って頂いたお弁当を、ご家族で美味しく召し上がっている風景もたくさん見られました。大きな事故や怪我が無く、笑顔で終わった運動会だったと思います。

今振り返り、園児は勿論のこと、運動会に関わって下さったすべての方々に、そしてすべてのものに、心から感謝申し上げます。『有難うございました！』

園長 堀江 和広